

古橋宜昌の EX プランニング講座 第1回

ゾーニングの考え方と 実プランへの展開テクニック

今回からエクステリアのプランニング実践講座を担当させて頂くことになりました。
皆さんの毎日の設計業務にすぐ役立つ内容でプランニングテクニックを解説してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。
さて、記念すべき第1回目はゾーニングについてです。ゾーニングなんて今更と思う方もいらっしゃると思いますが、競合他社との差別化を図る意味でもしっかりとしたゾーニングの考え方と、それをベースにしたプランニングが今後とても重要視されて来ることは間違いありません。
建物まわりのスペースをただなんとなく埋めてみました的な提案では施主の心を掴むことはできません。しっかりとしたコンセプトと動線、視線を意識したプランをきちんと提案出来れば「さすがプロは違う！」と思って頂けるわけです。
それではさっそく具体的な考え方について見ていくことに致しましょう。



古橋宜昌 (ふるはし のりまさ)
生年月日：1958年4月6日
東京電機大学理工学部建設工学科卒。
有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長
一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。
JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員
大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。
個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を超え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。
ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。
設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオン ガーデニング王選手権」の審査員なども務める。
ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>

ゾーニングとは 1

敷地内のスペースを駐車場や門まわり・主庭・サービスヤードなどに大まかに区画割りする事をゾーニングといいます。敷地の条件（接道位置、日当たり、高低差etc.）やお客様の要望（駐車場の必要台数、家族構成、ライフスタイルetc.）を十分考慮して、ベストなプランをご提案出来るよう心掛けましょう。

ゾーニングの手順とチェックポイント 2

さていくつかあるゾーニングの要素の中で一番始めに検討するのはどこが良いのでしょうか？出来れば陽当たりの良い場所をメインガーデン（主庭）として真っ先に確保したいところですが、一般的な住宅地においてはまず駐車スペースを確保する事が先決になってきます。それでは一般的なエクステリアのゾーニング手順とチェックポイントを見ていく事にしましょう。

